

第2回税制全体のグリーン化推進検討会

2026年2月19日（木）10:00～11:00

議 事 次 第

1. 開 会
2. 議 事
 - (1) 令和8年度環境省税制改正要望の結果について
 - (2) その他
3. 閉 会

配 付 資 料 一 覧

【資料】

- ・ 資料1 令和8年度環境省税制改正要望結果の概要
- ・ 資料2 令和8年度税制改正における自動車関係諸税（車体課税）の結果について
- ・ 参考資料1 令和8年度税制改正大綱（抄）（令和7年12月19日自由民主党・日本維新の会）
- ・ 参考資料2 租税特別措置法及び東日本大震災の被災者等に係る国税関係法律の臨時特例に関する法律の一部を改正する法律（令和7年法律第81号）（抄）

議 事 概 要

1. 令和8年度環境省税制改正要望の結果について

環境省から資料1、資料2について報告。これらに対する委員からの主な意見は下記のとおり。

- EV普及の観点から、EVの税率をそれ以外の自動車の税率と同じにすると、EV選択の税制面でのインセンティブがなくなってしまうのではないか。
- 令和8年度税制改正大綱に書かれている、環境性能割を廃止することと、「自動車の重量及び環境性能に応じた公平・中立・簡素な税負担の仕組み等について検討」することは矛盾しないか。
- EVの車両重量が道路損傷に与える影響が無視できなくなってきており、EVに対しても課税することで公平な課税に近づくともいえる。一方で、等しく重量ベース課税することでガソリン車よりも一般に重いEVの普及を抑制する可能性もある。
- 環境性能割が廃止されても、環境に資する何らかの措置を車体課税に入れることについてはコンセンサスがとれていると考える。

以 上